



## 研究テーマ

1 木材利用と環境保全に関する教育実践

2 木育の実践及び普及に関する活動

3 中学校技術分野における教材及び指導法に関する研究

## 研究概要

木材利用と地球環境保全との関わりについて、「木育」の実践及び普及に関する研究を行うとともに、学校教育(とくに小学校)において森林や木材に関する学習を導入するための研究を行っています。また、中学校技術・家庭科の技術分野の木材加工に関する教材・教具開発を行っています。



## 藤元 嘉安

ふじもと よしやす  
教育学部  
技術教育講座  
木材加工担当

教授

## キーワード

中学校技術・家庭科、  
技術分野、材料と加工、木  
材加工、木材利用教育、木  
育

特許情報・  
共同研究・  
応用分野など

## 1 木材利用と環境保全に関する教育実践

木を伐って利用することは、環境破壊につながり悪いことと考えている人が、まだ大勢おられます。しかしながら、木を伐った後に必ず植林を行うという原則を守り続けられれば、木材の利用は、地球温暖化防止に大きく貢献するとともに、木材は持続可能な社会を形成する上で必要不可欠な資源でもありあます。また、木材は天然材料であり、人間にとって優しく、数々の素晴らしい特性を有しています。このような木材の環境特性について、より多くの人に理解していただくために、教材や指導方法の開発・実践を行い、学校教育(とくに小学校)において森林や木材に関する学習をより多く行っただけのよう、小学校教員向けの木育ガイドブックを作成するなど、その普及に務めています。

## 2 木育の実践及び普及に関する活動

「木育」は、平成16年頃に北海道で始められた木材や森林に関する教育活動の一つであり、平成18年9月閣議決定の「森林・林業基本計画」では、「市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、多様な関係者が連携・協力しながら、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ、木材利用に関する教育活動」とされ、現在では、木育活動が全国において展開されつつあります。

宮崎県は平成3年より連続日本一のスギ素材生産量を誇る国内屈指の林業県であり、この宮崎の地において木育活動を充実するため、木育サポーター養成講座での講師を務めたり、各種イベントにおいて木材加工の指導を行ったりしています。

## 3 中学校技術分野における教材及び指導法に関する研究

中学校技術・家庭科技術分野における学習内容の一つである「木材加工」に関する教材・教具及び指導法に関する研究を行っています。とくに、木質材料の一つであるスギLVLを木材加工実習において使用する材料として、その教材化に関する研究を行っています。

## ホームページ

## 技術相談に応じられる関連分野

- ・木材利用と地球環境保全に関する講義。
- ・木材加工に関する技術指導

## メッセージ

・木工教室での技術指導や、木材に関する出前授業等について対応可能です。  
お気軽にお問い合わせ下さい。